

<報道関係各位>

2020年10月23日
ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2020年10月23日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

ギリアド・サイエンシズ イミュノメディクス社の買収を完了

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）は10月23日、今年9月に発表したイミュノメディクス社（本社：米ニュージャージー州モリスプレーンズ、ナスダック：IMMU、以下「イミュノメディクス」）の買収を完了したことを発表しました。買収総額は約210億ドルです。

ギリアドの会長兼最高経営責任者ダニエル・オデイ（Daniel O’Day）は、「今日、この節目の日を迎え、有能なイミュノメディクスチームをギリアドファミリーに迎えることができ、大変うれしく思います。がん患者さんのために Trodelvy のもつ大きな可能性を実現していくには、この先まだまださまざまな重要な仕事が残されています。今後一丸となって Trodelvy をより多くの世界中の転移性トリプルネガティブ乳がんの患者さんにもたらすと同時に、単剤療法や他の治療法との併用療法でさらに多くのがん種を治療する可能性を追求していきます。」と述べています。

2020年9月13日に、ギリアドとイミュノメディクスは、ギリアド、イミュノメディクスおよびギリアドの100%子会社である Maui Merger Sub, Inc.（以下、「買収者」）が、株式の公開買い付けを行うことで最終合意したことを発表しました。合併契約に従い、ギリアドと買収者が2020年9月24日に株式公開買い付けを開始し、イミュノメディクスの全発行済株式を1株あたり88ドルの現金（無利息）で取得しました。2020年10月23日にギリアドはイミュノメディクスの全ての発行済普通株式の公開買い付けを完了し、本公開買い付けにおいて有効に申込みがあり当該申込みが撤回されなかった全ての株式への支払いを了承しました。ギリアドは当該株式、すなわちイミュノメディクスの発行済株式の約81.38%に相当する株式（引渡保証通知に基づき応募された12,451,797株〈発行済株式に占める割合:約5.38%〉を除く）に対する支払いを直ちに行います。合併契約の条項に従い、買収者は2020年10月23日付でイミュノメディクスを吸収合併しました。イミュノメディクスの発行済普通株式のうち、(i) ギリアド、買収者もしくはこれら企業の直接・間接的の子会社の持ち株、(ii) イミュノメディクスの持ち株（イミュノメディクスの自己株式）、(iii) 米国デラウェア州法に基づく買収実行の承認を必要とする株主の持ち株を除く全ての発行済株式が消却され、1株あたり88ドルの現金を受け取る権利に変換されました。

合併完了の結果、イミュノメディクスはギリアドの完全子会社となり、イミュノメディクスの普通株式はナスダック・グローバル・マーケットから上場廃止となります。上場廃止は、2020年10月23日の取引時間終了後となる見込みです。

イミュノメディクスについて

イミュノメディクスは次世代の抗体薬物複合体（ADC）技術におけるリーダーとして、治療の困難ながん患者の生活を変革するための取り組みを行っています。独自のADCプラットフォームはペイロードの放出に酵素を必要としない新規リンカーを使用して、腫瘍細胞や腫瘍微小環境内に活性薬物を送達することでバイスタンダー効果を生み出すことに焦点を当てています。同社の有力ADCであるTrodelvyは転移性トリプルネガティブ乳がんの治療薬としてFDAに承認された初のADCであり、FDAに承認された初の抗Trop-2ADCでもあります。イミュノメディクスの詳細については同社ウェブサイト<http://www.immunomedics.com>をご覧ください。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオフィーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35か国以上で事業を行っています。ギリアド・サイエンシズに関する詳細は、www.gilead.comをご覧ください。

将来予想に関する記述

本プレスリリースは、「将来予想に関する記述」を含んでおり、ギリアド、イミュノメディクス、およびギリアドによるイミュノメディクスの買収に関し、いくつかのリスクや不確定要素などの要因に左右される場合があります。過去の事実以外全ての記述は、将来予想に関する記述とみなすことができます。これらの記述には、両社やその経営陣上層部の意向、見解、または現時点での予想に関する全ての記述が含まれます。将来予想に関する記述には、以下のことが含まれますが、これらに限定されません。事業統合及び関連事項、予想される業績と事業機会、統合後の業務および事業の見通し、統合後の業務および見通しには以下が含まれますが、これらに限定されません。ギリアドがイミュノメディクスの製品パイプラインを進展させ、Trodelvyの上市を成功させる能力、Trodelvyに関するイミュノメディクスの確証データおよびイミュノメディクスが開発するTrodelvyの追加適応に基づき米国食品医薬品局の完全承認を取得する見込み、臨床試験（臨床データの予定取得時期、資金調達、患者登録、試験評価項目、タイミングおよび関連コストの予定を含む）、臨床試験から好ましくない結果が得られる可能性、生物製剤認可申請および変更申請を含む規制当局への承認申請および関連事項のタイムライン、企業統合に関連する困難または想定外の経費の発生、および前述のいずれかに基づくあらゆる仮定。将来予想に関する記述が将来の業績を保証するものではないこと、またリスクや不確定要素が含まれていることに留意し、このような将来予想に関する記述に全面的に依拠しないよう注意してください。数多くのリスクや不確定要素により、実際の結果が現在予想されている結果と著しく異なることもあります。将来予想に関する記述で予期された見込みと実際の結果が異なる原因となるリスクや不確定要素には以下が含まれます。本取引が従業員や他のビジネスパートナーもしくは政府機関との関係に与える影響、規制当局の承認もしくは何らかの措置が取られた場合の時期や結果の予測困難性、イミュノメディクスが承認後の遵守義務（製品の品質、製品の流通およびサプライチェーン要件、販売促進およびマーケティングに関する遵守義務を含む）を満たす能力、承認後の検証的臨床試験の要件を含む過大な義務が承認後にイミュノメディクスに課せられる、もしくは検証的臨床試験の十分なデー

タの提出を始めとする承認後の規制要件を満たせなかったことにより、イミュノメディクス製品の完全承認が維持（承認を取得した場合）または取得できない可能性、競合製品およびその価格の影響、その他、以下を含む事業に関わる影響、企業の制御できない業界、経済、政治状況の影響、取引費用、実債務または偶発債務、将来における COVID-19 などの感染症のパンデミック、エピソードまたは感染拡大が事業や業績、財務状況に与える悪影響、および米国証券取引委員会への企業の定期報告に詳細が記載されているその他の不確定要素で、以下の報告を含みます。Form 8-K の最新報告、Form 10-Q の四半期報告および年次報告、Form 10-K の年次報告書。将来予想に関する記述は全て、ギリアドとイミュノメディクスが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドとイミュノメディクスは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

###